

# 藝園牧草

第十一卷・第三号

昭和三十八年五月十五日(毎月一回)発行

夕長郡沼字幌内一〇六六  
雪印種苗株式会社  
中央研究農場



雪印種苗株式会社

# 雪印がお奨めする 育成選抜品種の解説 ソルゴー（雪印ハイブリッド）



刈取適期の雪印ハイブリットソルゴー

(上野幌育種場)

a 播種期は関東地方で五月中下旬、寒冷地では五月底とし、条播あるいは二〇cm間隔に六~七粒の点播を行なう。また、ソルゴーの中にデントゴー

ソルゴーは暖地の青刈飼料あるいはサイレージ材料として重要な作物であり、生育旺盛、再生力強く、青刈収量の多いことが望ましく、これらの条件を満たす優れた品種を得ようとした。

## (一) 育成選抜の目的

ソルゴーは糖分を含み、家畜嗜好性高いものである。

## (二) 特性概要

雪印ハイブリッドは、ソルゴー他品種に比較し、初期の生育が著しく速い。一般にソルゴーは幼苗期には生育が緩慢で、除草あるいは速効性肥料（畜尿など）によって促進してやらなければならないが、雪印ハイブリッドは他品種より先んじて生育し、三回刈利用にも適している。

刈取時期には、葉長葉幅ともに大きく、葉が雄大で、生葉数も比較的多く、生草の多収性は顕著である。再生力においても、初期生育と同様に非常にすぐれており、二

## (四) 利用上の注意

a 播種期は関東地方で五月中下旬、寒冷地では五

月下旬。

b 播種法は畦幅六〇~七

五cmとし、条播あるいは

二〇cm間隔に六~七粒の点播を行なう。また、ソ

c ネットを三〇~四〇cm間隔に混播して、先づ青刈利用するのが普通であるが、若い中には茎葉に青酸を含み、家畜に有害であるから、若草に放牧すること等は危険であり、収量の面からも草丈二尺を越えて刈取るのが良い。

d サイレージに供する場合には、結実期に達し、充実したものを使用すべきで、未熟のソルゴーは品質悪く、変質しやすい。

e 蛋白を増強するため混播するまめ科作物としては、カウピーが適している。

ソルゴー品種の特性概要表Ⅰ (千葉農場 昭37)

品種名	項目	播種	発芽	出穂始	一番刈 (7月30日)	二番刈 (8月9日)	三番草合計
在来種(千葉) 雪印ハイブリッド ニューソルゴー	五・元	五・元	五・元	五・二	五・二	五・九	一〇%
	六・二	六・二	六・二	五・九	五・九	五・九	一〇%
	九・三	九・三	九・三	七・三	七・三	七・三	一〇%
	毛	三	三	三	三	三	一〇%
在来種(香川) ソルゴー品種の特性概要表Ⅱ (上野幌育種場 昭37)	ニユーハイブリット	五・元	五・元	五・二	五・二	五・九	一〇%
	六・二	六・二	六・二	五・九	五・九	五・九	一〇%
	九・三	九・三	九・三	七・三	七・三	七・三	一〇%
	毛	三	三	三	三	三	一〇%
開花期	乳	二・三	二・三	二・三	二・三	二・三	一〇%
成熟	九・三	九・三	九・三	八・三	八・三	八・三	一〇%
葉数	一・毛	一・毛	一・毛	一・毛	一・毛	一・毛	一〇%
茎の太さ	六・二	六・二	六・二	六・二	六・二	六・二	一〇%
葉長	六・二	六・二	六・二	六・二	六・二	六・二	一〇%
葉幅	七・六	七・六	七・六	七・六	七・六	七・六	一〇%
整一性	一・毛	一・毛	一・毛	一・毛	一・毛	一・毛	一〇%
生草重比率	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	一〇%

註 1

畦幅×株間、五〇×二〇cm、五~六粒占播  
播种量一〇kg 当一五、塩加一二、堆肥二、〇〇〇kg  
3 刈取一〇月一日一五、塩加一二、堆肥二、〇〇〇kg  
2 施肥量一〇kg 当硫安一〇、過石五〇、塩加一五、堆肥一、五〇〇kg  
熔燐

生育初期の雪印ハイブリットソルゴー